

昭和51年度 和歌山県文化功労賞

にし かわ よし じ ろう
西 川 好次郎

住 所：和歌山県日高郡美山村

出 身 地：和歌山県

生 年：明治36年

◎業績及び経歴

大正8年日高郡寒川第一小学校に奉職されてから美山村上初湯川小学校長を昭和30年に退職するまで、児童生徒の教育に尽くされた。

氏は学校に勤務するかたわら趣味の俳句や短歌に没頭したが、昭和9年皇太子殿下御誕生歌に応募し、入選したことが作詩家としての道を歩ませた。

以来1位入選歌だけでも100曲に余り、委嘱歌も含めると400余篇にも達している。

作詩はリズム感に溢れポイントがあり、作曲のし易い詩であると高く評価されている。

なかでも良く知られている歌は、和歌山県民歌をはじめ紀州おどり(ブンダラ節)、岸和田音頭、道成寺ジャンジャカ踊り、新海南音頭、新宮音頭などであるが戦前の歌にも傑作が多い。

歌に生きる氏は、県内外の市歌や校歌も数多くてがけ歌謡人として不滅の史をつくられているが、今なお第一線で活躍され地域文化の向上に尽くされている。